

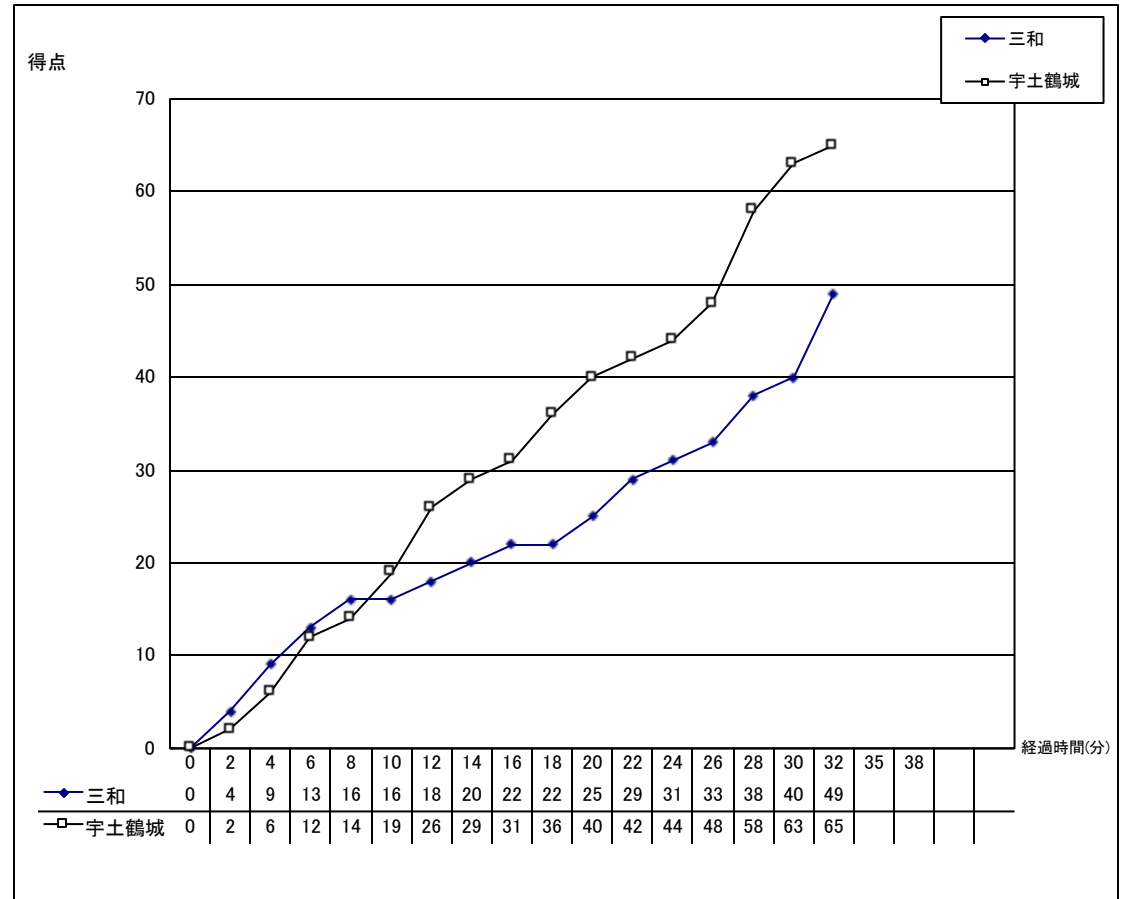
令和3年度 第57回 熊本県中学生バスケットボール選手権大会

個人データ表

女子準決勝		令和4年1月23日		13:30 開始	
		会場： 大津町総合体育館		Aコート 第4試合	
		主審： 徳丸 昂		副審： 林 剛大 平本 康弘	
三和	49	16	1 Q	14	☆ 宇土鶴城 宇城
熊本		6	2 Q	17	
		9	3 Q	13	
		18	4 Q	21	
				65	

三和												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
4	杉本 沙都季	9		1	3	7	3	3	1	5		5
5	丸尾 ひかり	12		2	5	11	2	6	1	4	1	5
6	宮野 柚莉											
7	嶽本 満愛											
8	関 心優	8			4	4			2	5	2	7
9	橋口 柚妃	10			4	10	2	10	4	7	7	14
10	井上 叶穂	10		2	4	12	2	5	2		2	2
11	田中 沙弥											
12	後藤 桃花											
13	林田 伊湖衣			1		1						
14	後藤 みゆう											
15	竹島 妃菜											
16	宮内 癒蘭											
17	野添 愛来											
18	井上 果穂											
コーチ 米田 創一朗												
合計		49		6	20	45	9	24	10	21	12	33
成功率			0.0%		44.4%		37.5%					

宇土鶴城												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
4	芥川 翠	16		1	8	11			3	4	4	8
5	東野 希奏			3					2	1		1
6	白井 滯	6			3	4			2			
7	西本 未来	13		1	6	15	1	1	4	1		1
8	小松野 叶愛	19	2	5	5	12	3	3	3	2	4	6
9	小松野 結愛			1		1			1			
10	佐藤 咲希	7		5	3	6	1	1	5			1
11	伊藤 なずな	2		1	1	1					1	1
12	芥川 百々子	2			1	3			1			
13	中尾 桜											
14												
15												
16												
17												
18												
コーチ 馬場 一雅												
合計		65	2	17	27	53	5	5	21	8	9	17
成功率			11.8%		50.9%		100.0%					



《戦評》

1 Q：三和#18のゴール下シュートから試合が動く。対して宇土鶴城は#7のジャンプシュートで追いかける。互いに決勝の緊張からミスが出る。三和が#10の連続得点を決めると、宇土鶴城は#4のドライブ、ゴール下で譲らない。三和は#9のゴール下ポストにボールを集めるも、宇土鶴城はチームで対応する。三和16-14宇土鶴城で1 Q終了。

2 Q：宇土鶴城の激しいディフェンスプレッシャーから得点を重ね、逆転。三和は残り6分49秒、1回目のタイムアウトで選手を落ち着かせる。しかし、宇土鶴城は、三和のガードに対する圧力を緩めず、#4が得点、さらに#10のドライブでバスケットカウント、1フリースローも得る。疲れを考え、宇土鶴城1回目のタイムアウト。三和は#8と#9のハイロープレーを試みるも、なかなか得点が決まらない。宇土鶴城#8の3Pシュートが決まり、じわじわと点差が開き始める。しかし、宇土鶴城のファールもかさみ、三和がフリースローを決めて点差を縮めていく。前半残り11秒、宇土鶴城がラストプレーを指示するために2回目のタイムアウトとるが、再開後に3Pは決まらず終了。宇土鶴城31-22三和と宇土鶴城9点リードで前半を折り返す。

3 Q：宇土鶴城#7の速攻、#8の3Pが決まり、点差を広げる。ターンオーバーの多さで、三和は流れをつかめない時間帯が続く。残り4分44秒、たまたま三和は後半1回目のタイムアウト。18点差から、ようやく三和#5がドライブを決め、ボーナスを合わせ3点を返す。三和がゴール下の連続得点で流れをつかみ始める。残り1分、ディフェンスで互いにしのぎ宇土鶴城44-31三和と13点差で最終クォーターへ。

4 Q：宇土鶴城はガードへの圧力やセンター対応で三和の攻撃を許さない。また、豊富な運動量を落とさず、速攻を決める。三和#9のターンシュートでファールを誘い、追いつがる三和。互いに激しい攻防が続くが、点差が縮まらず、宇土鶴城65-49三和で試合終了。両チーム全員がルーズボールやリバウンドをあきらめず、足を止めることのなかったゲームは非常に見応えがあった。

(記録者 熊本市立託麻中学校 栗崎 貴幸)